（様式第３号）

SDGs達成に向けた具体的な取組（要件２）

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目 1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
1	人権・労働		【差別の禁止】 ・性別、年齢、障がい、国籍、出身などによる差別を防ぐ教育体制や相談体制を整備し、差別がないことを確認している	基本	・雇用、教育、昇進、福利厚生や定年制の引き上げなど全ての雇用条件で、差別しない社内体制を構築し、経営トップも積極的に関与している ・ 高年齢者、障がい者雇用では積極的な取り組みと、第二種計画認定の届出及び雇用推進者を選任し届け出ている					5.1 5.2 5.5			8.5 8.7 8.8		10.2 10.3						16.1 16.2 16.7	
2			【ハラスメント禁止】 ・セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントを防ぐ、ルール・教育・相談体制を整備している	基本	・ハラスメントを禁止する旨を就業規則に明記している ・社内に相談窓口と担当責任者を設置している ・ハラスメント防止に係わる外部研修の積極的受講を経営者及び会社全体で推奨している					5.1 5.2 5.5			8.5 8.8								16.1	
3			【労働時間】 ・過度な長時間労働の防止に取り組んでいる	基本	・労働基準法等の改正内容を経営者を含め把握し、就業規則や36協定に労働時間の規定を設け、長時間労働の是正を行っている ・国が定めた自動車運転手の交替配置基準の遵守、労働時間の勤怠管理・勤務体制の整備も行っている								8.5 8.8									
4			【外国人労働者】 ・外国人労働者に対する差別、人権侵害がないことを確認している	基本	【予定】自動車運転手不足が否めない現状、外国人資格取得労働者へは適切な労働環境の整備を行い、資格未取得者へは資格取得に向けた勉強会や技能実習を推奨していき、外国人労働者に対する差別の撲滅を社内共有し、相談窓口を設置していく				4.4				8.7 8.8		10.2 10.3							
5			【労働安全衛生】 ・作業中の事故等を防ぐため、安全で衛生的な労働環境の整備に取り組んでいる	基本	・安全衛生会議と安全パトロールを定期的に行い、決議された内容の社内周知と労災発生の防止に努めている ・全車にドライブレコーダー・デジタルタコグラフを設置し、危険運転の監視と防止の啓発を行っている			3					8									
6			【メンタルヘルス】 ・労働者のメンタルヘルスを良好に維持できるように対策に取り組んでいる	基本	・メンタルヘルスに関する方針と策定を行っている ・年一回ストレスチェックを実施し、産業医による面談を今後も継続して行っていく			3														
7			【ダイバーシティ経営】 ・多様な人材（女性、外国人、障がい者、高齢者等）が、十分に活躍できる環境の整備に取り組んでいる	基本	・就業規則に育児、介護休業規定を設けている ・障がい者の雇用は、国が定めている障がい雇用率以上の人数を雇用している ・定年は65歳に定め、定年以降の再雇用を実施している ・事務所のバリアフリー化と敷地内に車いす利用のトイレを設置している					5.1 5.5			8.5		10.2 10.3								
8			【人材育成】 ・適切な能力開発、教育訓練の機会を従業員に提供している	基本	・職務や役割に応じた資格取得や研修を実施し、社内の有資格者の登録と資格手当の支給を行っている ・年間教育計画と研修予算を策定し、積極的に外部研修への参加も実施している				4	5.5			8	9								
9			【公正な待遇】 ・雇用形態に関わらず、同一労働同一賃金等の原則に沿って対応している	基本	【予定】パートタイム労働法、労働契約法等の改正内容を理解し、同一労働同一賃金等の原則に沿った体制の整備・対応を行う					5.5			8.5		10.2 10.3							
10			【健康経営】 ・従業員への健康投資による生産性の向上等に取り組んでいる	チャレンジ	・内勤者（営業含む）は、年一回の定期健診、自動車運転手は年二回の定期健診を実施している ・定期健診以外に、睡眠時無呼吸症候群（SAS）の検査の実施、自動車運転手は更に脳ドック・MRI検査を全て会社の費用負担で実施している			3					8									
11	環境		【廃棄物】 ・廃棄物の管理を適切に行い、適切な処理に取り組んでいる	基本	・廃棄物の種類・量を把握し、適切な分別と処理を行っている ・産業廃棄物・廃油・鉄くず等は、優良認定事業者を選定し依頼している											11.6	12.4		14.1			
12			【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 ・自社のエネルギー使用量、温室効果ガス排出量を把握している	基本	・経済産業省の「エネルギー消費統計調査」に調査票を提出し、エネルギー使用量を把握している ・社内においても各エネルギー利用量を月別に把握している							7.3						13				
13			【省エネ・温暖化対策の計画・取組】 ・自社の温室効果ガスの排出量を把握し、排出の抑制に取り組んでいる	基本	・事務所内の照明のLED化、空調設備の入れ替えにより、抑制効果が出ている ・クールビズ・ウォームビズにより、適切な室温管理を実施している							7.2 7.3					12.4	13.3				
14			【有害化学物質】 ・法令等で規制されている有害化学物質を把握し、使用量の抑制及び適切な使用に取り組んでいる	基本	【予定】法令で規制されている有害化学物質の使用は現状は無いが、今後の取り組みとして、有害化学物質の把握と削減していくための計画を策定していく			3.9			6.3					11.6	12.4					
15			【生物多様性】 ・自社活動が生物多様性や生態系に悪影響を及ぼさないよう配慮している	基本	・環境への影響が少なく生物多様性に悪影響を及ぼさないと思われるエコマークやグリーンマーク製品を優先的に購入する様に努めている						6.6									15		
16			【３Ｒの推進】 ・リデュース、リユース、リサイクルに取り組んでいる	基本	・紙資源利用の削減、アルミ缶・ペットボトルのリサイクルを推進している ・ 使用済みの廃油・廃タイヤ等は、産業廃棄物優良認定事業者へ引き取りと処分を委託しリサイクルを行っている												12.5		14.1			
17			【水の管理】 ・水資源の利用状況を適切に管理し、利用効率の改善に取り組んでいる	チャレンジ	・自社の水利用状況を把握し、管理している 【予定】使用量削減等の計画の策定を進めていく						6.4 6.6											

	カテゴリ	非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
18			【環境マネジメントシステム】 ・ISO14001、エコアクション21または同等の環境マネジメント規格を取得している	チャレンジ	【予定】事業主体に必要とされる環境マネジメントを見極め前向きな取り組みを行っていく			3.9			6	7					12	13.3	14	15		
19			【環境情報開示】 ・環境の取り組みに関する情報を正しく開示している	チャレンジ													12.6					
20			【再生可能エネルギーの利用】 ・再生可能エネルギーの利用に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】廃棄物認定事業者からの情報等から、再生可能エネルギーの見極めと利用に前向きな取り組みを行っていく							7.2						13				
21			【天然資源の持続的利用】 ・天然資源の持続的利用に配慮した調達に取り組んでいる	チャレンジ													12.2	13	14	15		
22	公正な事業慣行		【汚職・贈収賄防止】 ・汚職・贈収賄を禁止する方針を掲げ、社員に周知している	基本	･就業規則に汚職、贈収賄禁止等を定めおり、コンプライアンスの徹底を社内周知している																16 16.5	
23			【公正な競争】 ・不正競争行為に関与しない方針を掲げ、社員に周知している	基本	･不正競争行為を含む行動規範を整備して社内会議を実施している																16	
24			【知的財産保護】 ・知的財産の保護に取り組んでいる	基本	･マネジメント方針を策定し、重点管理として「目標管理」「リスク管理」を設定し、内部監査委員による「内部監査」の実施により取り組んでいる								8.2 8.3	9								
25			【個人情報保護】 ・個人情報を適切に管理している	基本	･個人情報保護規程を整備し、社内会議･研修等において厳格な個人情報の管理を徹底している ･個人情報関連書類は特定の定められた場所で保管し、保護規程内で管理責任者･管理担当者を定め、個人情報の漏洩防止に努めている																16	
26			【紛争鉱物】 ・紛争鉱物を取り扱っていないことを確認している	チャレンジ	･業種から紛争鉱物の取り扱いはなく、今後も取り扱いの予定はない																16	
27			【サプライチェーン管理】 ・サプライヤー、事業パートナー等と、人権侵害の防止、生物多様性や生態系への悪影響の防止、倫理面での適切な対応（ハラスメント・汚職・贈収賄防止）について認識を共有し、共に取り組んでいる	チャレンジ						5			8		10		12	13	14	15	16	17
28	製品・サービス		【製品・サービスの安全性】 ・製品・サービスの安全性を確保するための仕組みを構築している	基本	･日本バス協会が認定する「貸切バス事業者安全性評価認定（セーフティー）」を取得している ･安心、安全への取り組みが企業理念に盛り込まれており、毎日の朝礼で唱和している ･お客様への安心、安全な業務の提供のため、運行管理部が24時間365日常駐し連絡の取れる体制を構築している ･ずく出し！智恵出し！「おもてなし宣言」を長野県へ登録。又、積極的なおもてなし未来塾への参加と経営トップがおもてなしマイスターの認定を受けている			3.9									12.4					
29			【品質保証】 ・品質のよいモノやサービスを提供するための仕組みを構築している	基本	･旅客運送事業のため、先進安全自動車（ASV）付きの年式の新しい車両の積極的な導入を行っている ･ 顧客からのクレームに対応する社内の仕組みを構築し、顧客の声を社内共有するための体制･ルールを策定している									9								
30			【環境配慮】 ・環境に配慮した製品の開発・設計に取り組んでいる	チャレンジ	･開発･設計関連ではないが排ガス等、環境に配慮した車両の導入を常に考え計画的に行っている						6						12	13	14	15		
31			【社会課題解決】 ・社会課題を解決する製品・サービスの開発・展開に取り組んでいる	チャレンジ		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17

		非該当	チェック項目	取組レベル	具体的な取組 （県などの取得認証があれば、併せて記載してください。）	主なSDGs（17ゴールと169ターゲット）関連項目																
						1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
32	地域貢献・社会貢献		【地域への配慮】 ・自社事業が地域に与える影響を把握し適切に対応している	基本	・旅客運送事業として、感動や夢を与える貸し切り観光バスだけでなく、行政が取り組む山間過疎地域の路線バスや小中学校のスクールバスも運行し行政のサポートや地域貢献に取り組んでいる				4					9		11	12		14	15		17
33			【社会貢献活動】 ・寄付、ボランティアなど社会貢献活動に積極的に取り組んでいる	チャレンジ	・市内中学校の職場体験受け入れ事業者として積極的に受け入れに取り組んでいる ・自社車両にAEDを設置し、外部機関で救命救急の講習を定期的に受け、全社員が緊急時に対応できる体制を構築している ・週一回社屋周辺のごみ拾いや草取りを行い、地域関連団体への協賛・寄付も積極的に行っている				4							11			14	15		17
34			【地域資源】 ・地域資源を積極的に利用（地消地産、地産外商）している	チャレンジ	・地域スポーツ関連（AC長野パルセイロ・信濃グランセローズ・須坂ガロンズ）への協賛を通して、地元企業を中心とした地域経済活性化への取り組みを継続している								8	9		11	12	13				
35	組織体制		【内部管理体制】 ・経営理念及び経営目標を社内で共有している	基本	・経営理念及び弊社が地域に存在する意義を明文化するとともに、中・長期経営計画、年度経営方針について、経営トップから全従業員に対し説明し、共有化している								8	9								17
36			【法令遵守】 ・法令遵守の考えが社内に浸透し、法令を確実に遵守する体制・仕組みを構築している	基本	・安全管理規定、運行管理規定、整備管理規定等、各規定を設け、法令遵守・安全第一の重要性を全社員に周知している ・道路運送法等の法改正情報があった際には、各規定の見直しを行い、コンプライアンスの体制を整備している																16	
37			【組織体制】 ・企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対応する担当、専門部署などの体制を整備している	基本	・安全統括管理者、統括運行管理者など運送事業に関する専門担当者を北陸信越運輸局へ登録し、専任して企業活動が社会や顧客に及ぼす影響に対応する体制を整備している																16	
38			【ステークホルダーとの対話】 ・ステークホルダー（※）との対話により、自社の活動がステークホルダーに及ぼす影響を把握し、適切に対応している（※利害関係者：消費者、投資家等及び社会全体）	基本	・幅広いステークホルダーとのコミュニケーションを通して、地域貢献に努め適切に対応している ・お客様の声やお客様の意見・要望を尊重し、日々の業務改善に努めている																16	17
39			【リスクマネジメント】 ・リスクを特定、評価し、マネジメントするプロセスを整備している	チャレンジ	・マネジメント方針を策定し、重点管理として「目標管理」「リスク管理」を設定し、内部監査委員による「内部監査」の実施により取り組んでいる																16	
40			【社会的責任】 ・ＣＳＲ（Corporate Social Responsibility：企業の社会的責任）の考えに基づき企業活動が社会・環境に及ぼす影響に対して、責任を持った対応に取り組んでいる	チャレンジ	【予定】社会的責任の考えにもと基づき、企業活動を通して環境・社会・経済との調和を保ち、社会の持続的な発展に貢献していく様、CSR活動方針を策定する																16	
41			【事業継続】 ・事故や災害などの発生における事業継続計画を立案している	チャレンジ	・事故や災害・テロを想定した非常事態訓練を毎年実施している 【予定】今後は、BCP（事業継続計画）を策定していく									9		11		13 13.1			16	
42			【事業承継】 ・事業承継に関する検討・対策を行っている	チャレンジ	・自社が業務を依頼している、税理士法人主催の事業承継に関するセミナーや相談会に経営トップが積極的に参加している 【予定】後継者候補の人選を早期に行い、人材育成と教育を行っていく								8	9								17

上記以外で設定した取組項目

独自に設定したSDGsに資する取組	具体的な取組	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
県との連携により、県内の取り引き企業や団体・同業他社へSDGｓの普及促進を図る	・各種参加イベントでSDGｓの基本的な考えを伝え、共に学ぶ場を提供していく																	17

【記載留意事項】

・「取組レベル」の「基本」の項目のすべてに「具体的な取組」が記載されることが登録の必須条件となります。なお、今回の宣言に合わせて、今後、取り組む予定のものにあっても「具体的な取組」を記載いただければ登録が可能です。（今後、取り組むものについては、「具体的な取組」の前に【予定】と記載してください。）

・「非該当」欄については、「チェック項目」が事業形態上（個人事業主等）、該当しない場合にチェックし、その理由を「具体的な取組」欄に記載してください。

・「具体的な取組」には、チェック内容に関する具体的な取組を記載してください。

また、取組に関連する国際機関、国、県、市町村等の認証・認定等（※）を取得している場合は、その旨を併せて記載してください。

（※職場いきいきアドバンスカンパニー認証制度、信州福祉事業所認証・評価制度、えるぼし認定、森林認証制度、森林CO2吸収評価認証制度、長野県県産材CO2固定量認証制度、消防団協力事業所表示制度など）